

## 履歴書および業績目録記載上の留意事項 並びに送付すべき論文別刷りについて

### (1) 履歴書(様式1)

ア) 学歴の欄には、高校(高専を含む。)卒業以降の学歴及び研究生、専攻生、在外研究などの事項について記入し、該当するものを○で囲むこと。(卒=卒業、修=修了、中退=中途退学)

大学院博士課程を単位取得退学した場合は「単位取得」と明記すること。

イ) 職歴の欄には常勤の場合のみを記載し(ただし、最終学歴直後の非常勤講師等のみ  
の就業の場合は記載)、該当するものを○で囲むこと。(退=退職、転=転勤、昇任=地  
位等の上位への昇格)

ウ) 免許、資格の欄には教育、研究を遂行する上で重要と思われるもののみを記入する  
こと。(RI取扱主任免許等)

エ) 学位の欄に記載するのは修士以上の学位とし、授与された大学名も記入すること。

オ) 学会賞、学会その他の活動の欄には、学会賞については賞の名称、受賞題名、授与  
機関名等を記載し、学会その他の活動については、学会会員、学会役員、学会雑誌の編  
集委員などについて記載すること。

カ) 連絡先には電話番号、FAX番号、およびE-mailアドレスを記載し、自宅または勤務  
先のいずれかを○で囲むこと。

### (2) 研究業績目録(様式2)

原著、総説、著書、学会発表、及び科学研究費等の配分について、区分毎にそれぞれ  
1番から番号を付して年代順に記載すること。

ア) 原著(Proceedingsなど原著でないものは記載しないこと。):

レフリー制の雑誌については論文番号に\*を付けること。未刊行の原著のうち、印刷  
中のものについては校正刷あるいは受理証明書のコピーを添付すること。投稿中のもの  
については記載しないこと。

【記載例】

原著論文	◎1*	Ishida.M, Tayanaka.H, Yanagiya.S, Nakamura.T. : Differnce of Si selective growth on Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> and SiO <sub>2</sub> substrates by electron beam irradiation method. <u>Jpn.J.Appl.Phys.</u> 34 : 4429-4432, 1995
------	-----	---

著者名のうち応募者氏名の下にラインを引くこと。なお、10編以内の主要論文の論  
文番号に○印を付し、添付した別刷の論文には◎を付すこと。

イ) 総説など: 1990年以降のもののみ記載すること。

【記載例】

総説	1	黒沢格, 超伝導・ジョセフソン素子. <u>電子情報通信学会誌.</u> 78:1086-1091,1995.
----	---	--

ウ) 著書：著書名，単著，共著，編者の区別，編集者名，発行所，発行年の順に記載すること。共著の場合は分担項目名，ページ，当該項目の著者名（応募者を含む）を記載する。

【記載例】

著書	1	基礎電気・電子工学シリーズ3. 電子回路 (共著), 西巻正郎, 関口利男編, 森北出版, 1986, 分担項目：第11章パルス回路, 183-232 (大塚敏, 熊耳忠)
----	---	---

エ) 学会発表：過去5年間の特別講演及びシンポジウム，一般講演，その他について区分して記載すること。演題名，学会名，発表年，開催地の順に記載し，司会者の場合は（司会）と加えること。

【記載例】

学会発表 シンポジウム	1	垂直磁化膜におけるバックリング様式. 垂直磁気記録シンポジウム, 1997 (横浜)
----------------	---	--

オ) 科学研究費等：1990年以降の科学研究費等の配分実績を記載すること。

【記載例】

科学研究費等	1	文部省科学研究費補助金, 基盤研究(C) (一般), ジョセフソン素子におけるカオスの研究, 代表, 1995, (350万円)
--------	---	--

### (3) 研究業績概要

A4版の用紙に1200字以内で、これまでの研究業績全般について記述すること。研究業績目録の主要論文と関連づけることが望ましい。(書式自由)

### (4) 論文別刷

論文番号に○印を付した論文のうち重要と思われる原著論文3編の別刷(コピーでも可)各3部を添付すること。

### (5) 教育，学生指導および管理運営等に関する貢献および経験(様式3)

現在までに携わってきた業務のうち、着任後の教育，学生指導および管理運営等に関連すると思われるものを記載すること。

### (6) 教育，研究，学生指導に関する抱負

着任後の教育，研究，学生指導(課外活動指導を含む。)に関する抱負について、1,000~2,000字程度でA4版用紙に記載すること。(ワープロを使用)

履 歴 書

年 月 日作成

写 真  
縦40mm×幅30mm  
(本人胸上半身)

ふりがな 氏 名	印	男女	生年月日	年 月 日 ( 歳)
現 住 所				
現 職				
勤務先住所				
連 絡 先	電話 ( ) -	FAX ( ) -	自宅 勤務先	
	E-mail			

学 歴 (高校卒業以降)

年	月	事 項
		(卒・修・中退)
		(卒・修・中退)
		(卒・修・中退)
		(卒・修・中退)
		(卒・修・中退)

職 歴

年	月	事 項
		(退・転・昇任)
		(退・転・昇任)
		(退・転・昇任)
		(退・転・昇任)
		(退・転・昇任)
		(退・転・昇任)
		～ 現在に至る

免許・資格

年	月	日	事 項
学 位	学 位 の 種 類	( ) 大学	取得年月日 年 月 日
	学位論文の名称		

学会賞・学会その他の活動等

年	月	日	事 項

(注) 不足の場合は欄を追加すること。

## 研 究 業 績 目 録

氏 名 \_\_\_\_\_

年 月 日作成

区 分	番号	事 項
原 著	1	
	2	
総 説	1	
	2	
著 書	1	
	2	
学会発表 シンポジウム	1	
	2	
一般講演	1	
	2	
科学研究費等	1	
	2	

No. \_\_\_\_\_

(注) 用紙が不足する場合は、この様式をコピーすること。

## 教育，学生指導及び管理運営等に関する貢献及び経験

氏名 \_\_\_\_\_

年 月 日作成

① 担当授業科目	期 間
② 各種委員会委員	期 間
③ その他参考となる事項	